

河川工作物アドバイザー会議の経過報告・今後の予定

1 今年度取り組む主要項目について

(1) 第39回世界遺産委員会決議に係る対応について

2015年7月に勧告を受けた、ルシャ川のダムや橋等の取扱いについては、同年、防災機能の維持及び河川環境等を検討するため水理模型実験を実施した。

本年はさらに検討を深めるため、iRICによる数値解析等を実施する予定である。

また、本年8月に開催予定の第1回会議において、再度現地検討を実施するなど保全状況報告に向けた議論を行う予定である。

なお、決議に係る保全状況報告については、本年12月1日までにユネスコ世界遺産センターに提出するため、関係者間での協議を進め適切に対応していく考えである。

(2) 河川工作物の改良について

① ルシャ川ダムの改良

これまで切り欠きなどの改良を行ってきたところであるが、更なる改良の検討を進めているところであり、具体的な改良に向けたシミュレーションなど行う予定である。

② 第2次検討ダム

改良すればサケ科魚類の生息環境等の改善が図られる可能性があるものの、改良に伴う防災機能等への全体的な影響が大きいため「現状維持」と評価した河川工作物35基について、防災機能等を維持しつつ、特に産卵環境の改善に焦点を当てた改良の検討を開始している。

このうち、オッカバケ川2基（林野庁）、モセカルベツ川1基（北海道）については、既に数度の現地検討や漁業者との意見交換を行っているところであり、先行的に具体的な改良方法の検討を進めている。

(3) モニタリング調査の実施

① 河川水温計測：遺産地域外を含む37河川

② オショロコマ等淡水魚の生息状況調査（外来魚を含む）：8河川

2 河川工作物アドバイザー会議の開催予定

(1) 第1回 2016年8月22日～23日（斜里町で開催）

- ・ ルシャ川の現地検討
- ・ ルシャ川ダム改良及び橋等の取扱いに係る今後の対応
- ・ 世界遺産委員会決議に係る保全状況報告
- ・ 長期モニタリング項目の評価

(2) 第2回 2017年1月頃（予定）（札幌市で開催）

- ・ 世界遺産委員会決議に係る保全状況報告
- ・ ルシャ川ダムの改良及び橋等の取扱い
- ・ 第2次検討ダムの取扱い